

# 日本高等教育学会

## 第1回大会プログラム

期間：1998年5月30日（土）～31日（日）

会場：広島大学教育学部

日本高等教育学会第1回大会 大会実行委員会  
事務局：広島大学 大学教育研究センター内  
〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2  
Tel. 0824-24-6241, 6242  
Fax. 0824-22-7104  
(大会当日、ファックスは利用できません)

Japanese Association of Higher Education Research

## 《大会日程》

### 5月30日（土）第1日目

|         |             |
|---------|-------------|
| 受付      | 11:00～      |
| （理事会）   | 12:00～13:00 |
| 開会式     | 13:20～13:30 |
| 自由研究発表A | 13:30～15:25 |
| 自由研究発表B | 15:35～18:10 |
| 懇親会     | 18:30～20:00 |

### 5月31日（日）第2日目

|        |             |
|--------|-------------|
| 課題研究   | 9:30～12:00  |
| 昼食     | 12:00～13:00 |
| 総会     | 13:00～13:30 |
| シンポジウム | 13:30～16:00 |

## 《大会参加者へのご案内》

1. 受付：5月30日（土）午前11時より、教育学部玄関にておこないます。
2. 参加費等：大会参加費、懇親会費は、受付にてお支払ください。  
大会参加費 4,000円  
懇親会費 5,000円  
なお学会年会費は、大会の会場では受け付けられません。ご了承ください。
3. 昼食：大会第1日目（土）は、学内の食堂やキャンパス最寄りの飲食店をご利用いただけます。大会第2日目（日）につきましては、弁当を準備いたします（料金は1,000円程度を予定しております）。必要な方は、第1日目午後4時までに受付にてお申し込みください。
4. 懇親会：第1日目（土）午後6時30分より、西2カフェテリア（教育学部より徒歩10分）にて開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。
5. 控室：教育学部 C108講義室を会員控室としますので、ご利用ください。なお、荷物預かり所等は特に設けませんので、荷物は各自でお持ちくださいますようお願いいたします。
6. 大会本部：教育学部大会議室です。

## 《会場への経路》

### 【JR利用の場合】

#### (1) JR山陽本線利用の場合

JR西条駅での下車となります。西条駅から会場までバスをご利用になる場合は、「広大北口」で降りてください(280円)。西条駅から会場までタクシーをご利用の場合、料金は約1,500円です。

#### (2) 新幹線利用の場合

東広島駅での下車となります。東広島駅から会場まではタクシーをご利用下さい(料金は約2,000円)。土、日は、バスが運休となっています。

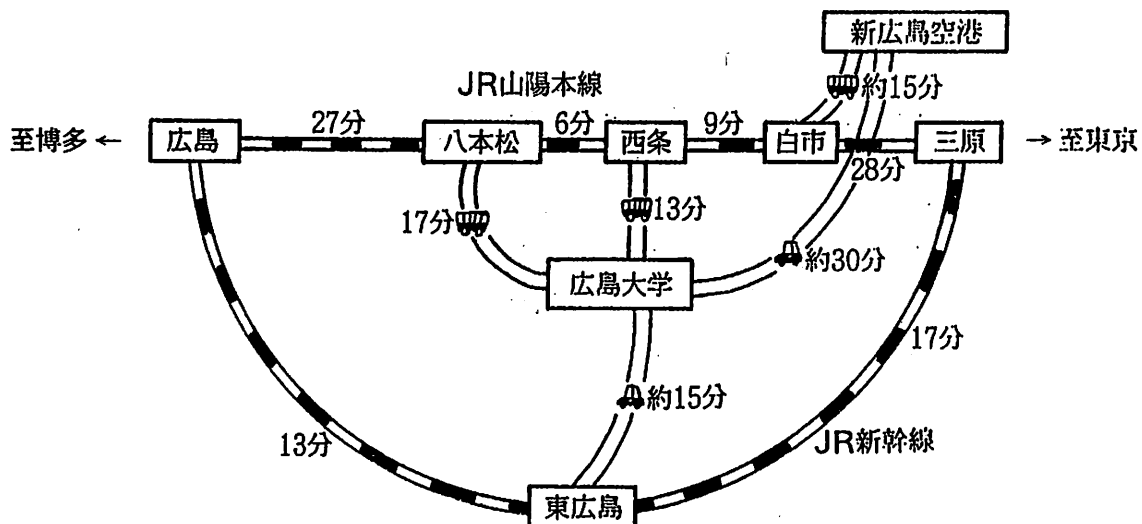
### 【新広島空港利用の場合】

空港からJR山陽本線白市駅までバスが出ています(380円)。白市駅からは、JR山陽本線をご利用ください(白市駅から西条駅まで約10分です)。

空港から会場までタクシーを利用した場合(高速道路利用)、料金は約6,000円です。

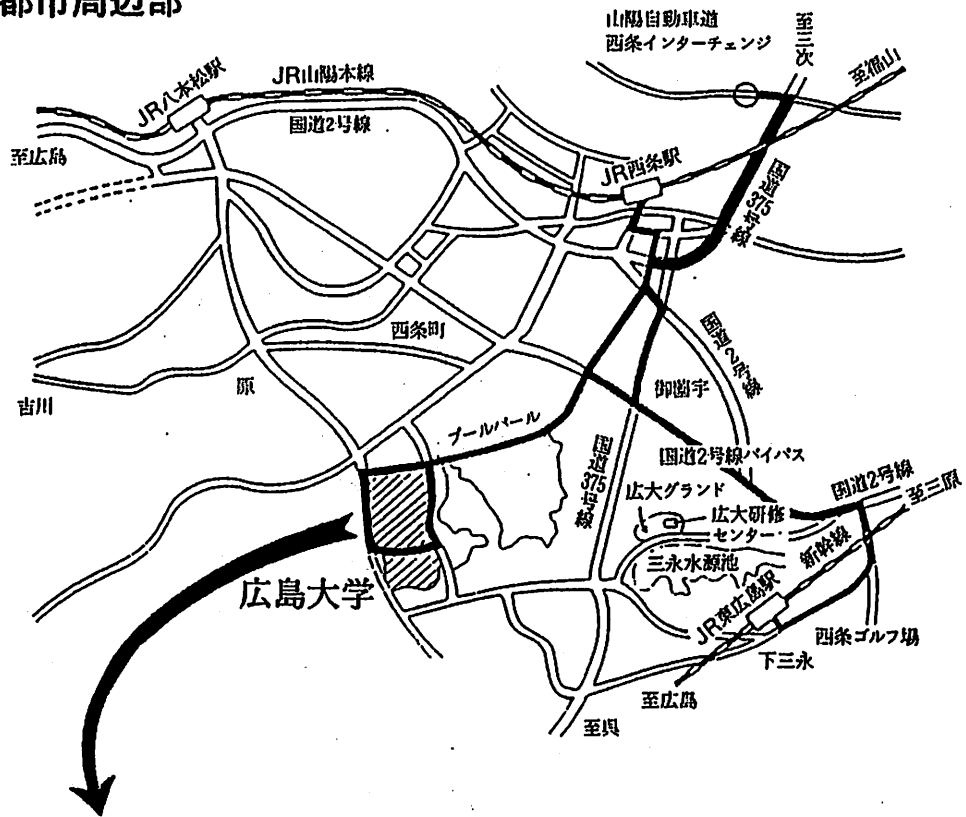
### 【自家用車利用の場合】

山陽自動車道をご利用の場合は「西条 I.C.」でお降りください。インターから会場までの所要時間は約20分です。主な経路は次のようになります。まず料金所を出てすぐの交差点を右折し、国道375号線を「呉・黒瀬」方面へ直進約3.4km、つきあたりを右折してください。次に2つ目の信号を左折すると「プールバール」へ出ます。「プールバール」は広島大学に通じる幹線道路です。広島大学構内には無料の駐車場が十分にごさいます。ご利用ください。

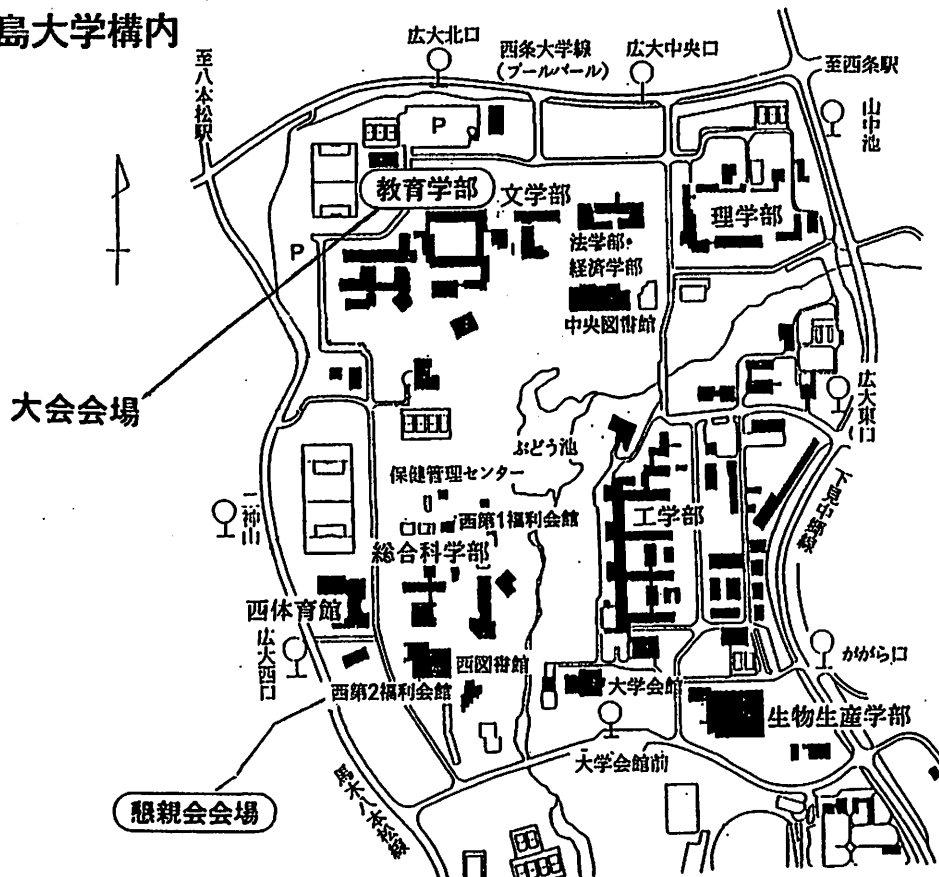


# 《会場案内図》

## 1. 広島大学都市周辺部



## 2. 広島大学構内



## <教育内容・カリキュラム>部会

司会：絹川 正吉 (国際基督教大学)

- 13:30~13:55 戦後日本の大学における教養教育の成立基盤  
— 東京工業大学の改革より —  
杉谷 祐美子 (早稲田大学大学院)
- 13:55~14:20 学部一貫教育体制における教養教育  
○小笠原 正明 (北海道大学)  
阿部 和厚 (北海道大学)
- 14:20~14:45 アメリカの大学・高校の接続  
— リメディアル教育とジェネラル・エデュケーション —  
吉田 文 (メディア教育開発センター)
- 14:45~15:10 国立高等教育機関における建設工学教育  
— その1.「建設工学」の現状と範囲 —  
山中 正樹 (豊橋技術科学大学)
- 15:10~15:25 討論

## <教授法・教育実践>部会

司会：高橋 靖直 (玉川大学)

- 13:30~13:55 「人間学的な知」に立脚して行なわれる授業実践  
毛利 猛 (香川大学)
- 13:55~14:20 生命倫理と人間性教育のための臨床人間学  
○庄司 進一 (筑波大学)  
紙屋 克子 (筑波大学)
- 14:20~14:45 大学物理教材のネットワーク化  
原 康夫 (帝京平成大学)
- 14:45~15:10 本邦の大学生の授業中における無質問行動に関する心理学的  
研究 (I)  
祐宗 省三 (武庫川女子大学)
- 15:10~15:25 討論

## <入試・進学>部会

司会：荒井 克弘 (大学入試センター)

13:30~13:55 大学進学率の都道府県格差に関する一考察

— 学力・所得・供給構造 —

藤村 正司 (新潟大学)

13:55~14:20 イギリスにおける中等教育資格制度改革と大学進学

小林 雅之 (放送大学)

14:20~15:05 教科科目複合型総合試験の研究

○平 直樹 (大学入試センター)

○柳井 晴夫 (大学入試センター)

15:05~15:25 討論

## <大学と職業>部会

司会：小林 信一 (電気通信大学)

- 13:30~13:55 国立大学事務官のキャリア形成  
猪股 歳之 (東北大学大学院)  
○木原 京 (東北大学大学院)
- 13:55~14:20 ドイツにおける環境職種人材養成と高等教育  
岩井 清治 (桜美林大学)
- 14:20~14:45 イギリスの高等教育と技術者養成の推移  
岩内 亮一 (明治大学)
- 14:45~15:10 大学教員の公募制人事に関する研究  
— 公募文書を手掛かりとして —  
山野井 敦徳 (広島大学)
- 15:10~15:25 討論



## < 学生生活 > 部会

司会：川嶋 太津夫 (神戸大学)

- 13:30~13:55 学生の社会化に対する大学生活の影響に関する研究  
作田 良三 (広島大学大学院)
- 13:55~14:20 経済学教育：「生活経済」テストの実施とその結果を中心として  
山岡 道男 (早稲田大学)
- 14:20~15:05 学生文化の実態・機能に関する実証的研究  
— 19大学・短大生に対する意識調査、第1次報告 —  
○武内 清 (上智大学)  
○岩田 弘三 (武蔵野女子大学)
- 15:05~15:25 討論

## <高等教育と経済>部会

司会：丸山 文裕 (相山女学園大学)

- 13:30~13:55 中日大学生の経済的価値意識の比較に関する研究  
李 東林 (広島大学大学院)
- 13:55~14:20 家計の学費負担に関する実証的研究  
島 一則 (東京工業大学大学院)
- 14:20~14:45 私立大学学納金の規定要因分析  
浦田 広朗 (麗澤大学)
- 14:45~15:10 高等教育費の公的負担と福祉国家政策  
— ドイツ大学大綱法改正論議が示唆するもの —  
吉川 裕美子 (お茶の水女子大学)
- 15:10~15:25 討論

## <高等教育と地域社会>部会

司会：麻生 誠 (放送大学) 河野 員博 (広島県立大学)

15:35~16:00 大学と地域の連携

— 「大学まちづくり」を通じての実践教育 —

小島 茂 (静岡県立大学・草薙ネット代表)

16:00~16:25 大学と地域社会

— 山形県における大学・地域社会関係を事例として —

佐藤 直由 (山形大学)

16:25~16:50 地方国立大学と地域社会

— 佐賀大学における地域社会との関わり —

新富 康央 (佐賀大学)

16:50~17:55 国立大学における地域社会との交流

— 7大学教員の調査結果から —

○天野 郁夫 (国立学校財務センター)

小林 雅之 (放送大学)

○吉本 圭一 (九州大学)

○加野 芳正 (香川大学)

○村沢 昌崇 (広島大学)

○稲永 由紀 (九州大学大学院)

17:55~18:10 討論

## <就職>部会

司会：岩内 亮一 (明治大学) 大江 淳良 (リクルートリサーチ)

15:35~16:00 中国師範大学における就職過程に関する調査研究  
姜 星海 (広島大学大学院)

16:00~16:45 高専の教育と卒業生のキャリア  
○本田 由紀 (日本労働研究機構)  
○新谷 康浩 (東北大学大学院)

16:45~17:30 大卒労働力需給の地域ブロック間比較  
○秋永 雄一 (東北大学)  
○猪股 歳之 (東北大学大学院)  
村山 詩帆 (東北大学大学院)

17:30~18:10 討論

## ＜高等教育制度と組織＞部会

司会：馬越 徹 (名古屋大学) 仙波 克也 (広島大学)

- 15:35~16:00 留学生への生活支援体制にみる国立大学の限界  
— 東北大学を事例として —  
西村 史子 (東北大学大学院)
- 16:00~16:25 公立大学の管理運営に関する研究  
— 設置者との関係を中心に —  
天野 智水 (広島大学大学院)
- 16:25~16:50 「大学研究」における「コスモポリタニズム」と「ローカリズム」  
— 広島大学の事例から —  
大佐古 紀雄 (早稲田大学大学院)
- 16:50~17:15 ユニバーシティ・アイデンティティに関する研究  
青木 薫 (広島市立大学)
- 17:15~17:40 1900-1901年に生まれた女子高等教育機関の特質  
谷岡 郁子 (中京女子大学)
- 17:40~18:10 討論

## <高等教育政策>部会

司会：市川 昭午 (国立学校財務センター) 山本 眞一 (筑波大学)

- 15:35~16:40 高等教育政策の形成と評価に関する総合的研究  
— 2010年の高等教育に関する有識者調査を中心に —  
○喜多村 和之 (国立教育研究所)  
○塚原 修一 (国立教育研究所)  
○沖 清豪 (国立教育研究所)  
○出相 泰裕 (山協学園短期大学)  
○阿曾沼 明裕 (筑波大学)
- 16:40~17:45 大学評価の現状と課題  
— 国際比較の視点 —  
○有本 章 (広島大学)  
○安原 義仁 (広島大学)  
○米澤 彰純 (広島大学)
- 17:45~18:10 討論

## <諸外国の高等教育>部会

司会：江原 武一 (京都大学) 桑原 敏明 (筑波大学)

- 15:35~16:00 シンガポールにおける高等教育改革  
— 産業高度化との関連から —  
北上 久美子 (広島大学大学院)
- 16:00~16:25 チェコにおけるポスト社会主義高等教育改革  
— 学部改編を中心に —  
石倉 瑞恵 (名古屋大学大学院)
- 16:25~16:50 オーストラリア高等教育における「一元制」の功罪  
— ドーキンス改革を中心に —  
杉本 和弘 (名古屋大学大学院)
- 16:50~17:15 ドイツの大学大綱法の分析  
今井 重孝 (広島大学)
- 17:15~18:10 討論

## <学部教育>部会

司会：館 昭 (学位授与機構) 清水 一彦 (筑波大学)

- 15:35~16:00 期待される学部教育像  
— 琉球大学在学・卒業生調査から —  
大膳 司 (琉球大学)
- 16:00~16:45 京都大学の卒業生は大学教育をどうみているか  
— 戦後50年、4学部の卒業生の意見調査から —  
梶田 叡一 (京都大学)  
○石村 雅雄 (京都大学)  
○溝上 慎一 (京都大学)
- 16:45~17:50 学部教育のパフォーマンスとその規定要因  
○金子 元久 (東京大学)  
橋本 鉦市 (学位授与機構)  
○間渕 泰尚 (東京大学)  
○濱中 義隆 (東京大学大学院)  
○大多和 直樹 (東京大学)
- 17:50~18:10 討論



課題研究Ⅰ

5月31日（日）9:30～12:00 （教育学部 C102講義室）

## 大学入試のゆくえ

司会：矢野 眞和（東京工業大学）

報告者：

「大学入試と政策」天野 郁夫（国立学校財務センター）

「高校教育と大学入試」荒井 克弘（大学入試センター）

「大学入試と大学教育」山岸 駿介（多摩大学）

課題研究Ⅱ

5月31日（日）9:30～12:00 （教育学部 C104講義室）

## 学生からみた大学改革

司会：小笠原 正明（北海道大学）

報告者：

「京都大学の学生調査から」梶田 叡一（京都大学）

「学生調査から見えるもの」金子 元久（東京大学）

## 2008年の高等教育 — ユニバーサル化への道 —

司会：天野 郁夫 (国立学校財務センター) 有本 章 (広島大学)

報告者：

佐藤 禎一 (文部省)

マーチン・トロウ (カリフォルニア大学)

喜多村和之 (国立教育研究所)

## 【趣旨】

現在、世界的にめざましい社会変化が進行するなかで、大学を中心とする高等教育の改革が急ピッチでおこなわれている。このような状況において、10年後の高等教育像を描くことは容易ではない。大衆化段階からユニバーサル化への行方が注目され始めているが、はたして実際にはどのような現実が展開されるであろうか。未来の予測が困難な時代は、不安な時代でもある。今日ほど、確固とした理念に裏付けられた高等教育像の構想、計画、政策が求められている時代はないと言えるかもしれない。そして、高等教育の研究者には、的確な理論と経験に基づいた洞察を通じて、こうした問題にアプローチすることが期待されているのである。

そこで本シンポジウムでは、佐藤 禎一氏には高等教育政策の視点から、マーチン・トロウ氏にはアメリカの経験を踏まえて日本への示唆を与える視点から、喜多村和之氏には両者の論点を整理しつつ外国と日本の比較を踏まえた視点から報告していただく。三氏の報告をもとに、活発な議論が展開されるに違いない。